

希少症例 に学ぶ リハビリテーション診療講座

この研修会は、「症例蓄積により、あとに続く患者の医療の手がかりをつかむ」ことを目的としています。先行する報告をもとにした議論と初期の病態の理解が深める専門医師の解説、担当療法士による経過報告を通して、リハビリテーション診療のスキル向上を図ります。

第1回目は、以下の3疾患を取り上げます。いずれも希少症例で、論文による症例蓄積を検討しています。また、確実に地域へ戻る症例です。途中参加大歓迎ですので、振るってご参加ください。

司会：中山 恭秀(リハビリテーション科技師長)

18:35～

Case1



TAFRO症候群3症例の病態の違いと 理学療法の違いについて

症例提示 大高 愛子(リハビリテーション科)

ナビゲーター：羽田 拓也(リハビリテーション科医局長)
五十嵐 雄介(リハビリテーション科)

19:10～

Case2



閉塞性肥大型心筋症(HOCM)を合併した 低酸素脳症症例

～運動負荷禁忌に対する段階的起立運動

症例提示 来住野 健二(リハビリテーション科主任)

ナビゲーター：栗山 千秋(リハビリテーション科医師)
木山 厚(リハビリテーション科主任)

19:45～

Case3



低侵襲寛骨臼骨切り術(SPO)後の 機能障害の特徴と予後

症例提示 保木本崇弘(リハビリテーション科)

ナビゲーター：尾崎 尚人(リハビリテーション科医師)
岡道 綾(リハビリテーション科)

総評：安保 雅博(リハビリテーション科診療部長)

日時：令和元年12月3日(火) 18時30分～20時20分

場所：東京慈恵会医科大学1号館3階講堂

申し込み方法：事前FAX申し込み制です、定員になり次第HP上で締め切りのお知らせをさせていただきます。

【申し込み】

この「地域リハビリテーション合同研修会 参加申込書」に必要事項を記入の上、**FAX: 03-3431-1206**までお送りください。

【締め切り】

令和元年12月1日（日）

※申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

※定員がいっぱいになりましたらホームページ

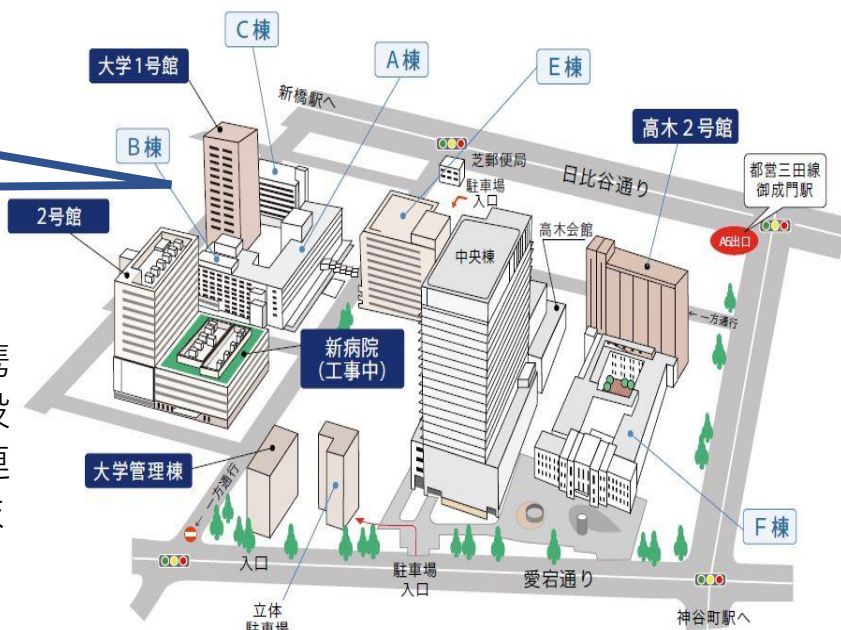
(<http://www.iikei-reha.com/>)にてお知らせいたします。

ホームページをご確認の上お申し込みください。

【地図】

大学1号館
3階講堂になります。

★首都圏地域医療連携
パス協会加入の施設
の方は会終了後に連
絡会を開催いたしま
す。



《12月3日の第4回地域リハビリテーション合同研修会に参加します》

事業所名 _____

電話番号 _____

代表者メールアドレス： _____

参加者名、職種

- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____
- ⑤ _____